高等部

年間指導計画

国語

令和８年度　年間指導計画

令和８年度　高等部　３学年（Ⅱ課程Ａ類型①）　　国語科　年間指導計画

単位/配当時数	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
2／70	高等部３学年　Ⅱ課程Ａ類型①（知的）	別紙記載	［改訂新版］くらしに役立つ国語（東洋館出版社）

年間目標	(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりすることができるようにする。 (思判表力）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめたり、広げたりすることができるようにする。 (学・人）言葉が持つ良さを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 《高等部２段階》

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。 (思判表力)話の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。 (学･人)相手に正確に伝わるように話したり、相手の話の中心を捉えて聞いたりしようとすることができる。 《高等部２段階》	(知・技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (思･判･表)話の内容が明確になるように、話の構成を考えている。 (主学)相手に正確に伝わるように話したり、相手の話の中心を捉えて聞いたりしようとしている。	自己紹介・他己紹介をしよう	①自己紹介・他己紹介の素材集め ②自己紹介・他己紹介の発表
		(知及技）話し言葉と書き言葉に違いがあることに気付くことができる。 (思判表力)目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 (学･人)言葉が持つ良さを認識し、互いの立場や意図を明確にしながら、考えを広げたりまとめたりすることができる。 《高等部２段階》	(知・技）話し言葉と書き言葉に違いがあることに気付いている。 (思･判･表)目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (主学)言葉が持つ良さを認識し、互いの立場や意図を明確にしながら、考えを広げたりまとめたりしようとしている。	メールやメッセージアプリの使い方	①メールやメッセージアプリのルールやマナー ②メールやメッセージアプリの使い方
		(知及技）日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。 (思判表力)社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。 (学･人)身近な敬語を理解して意識的に使い、使い慣れようとすることができる。 《高等部２段階》	(知・技）日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。 (思･判･表)社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えている。 (主学)身近な敬語を理解して意識的に使い、使い慣れようとしている。	表現力を高めよう①	①敬語の種類について ②身近な敬語ついて ③電話対応
		(知及技）文章を音読したり、朗読したりすることができる。親しみやすい文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 (学･人)詩を読み味わい、感想を書いたり、リズムを感じながら音読したりしようとすることができる。 《高等部２段階》	(知・技）文章を音読したり、朗読したりしている。親しみやすい文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 (主学)詩を読み味わい、感想を書いたり、リズムを感じながら音読したりしようとしている。	詩に親しもう 「平和の詩」	①詩の内容を読み取る ②読み取った内容を基に工夫して音読する ③平和や沖縄戦について感じたことをまとめる

令和８年度　年間指導計画

		(知及技）文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。 (思判表力)筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えることができる。 (学･人)手紙の書き方を理解し、送る相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとすることができる。 《高等部２段階》	(知・技）文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。 (思･判･表)筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えている。 (主学)手紙の書き方を理解し、送る相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとしている。	手紙を書こう①	暑中見舞いを書く
２学期	28	(知及技)生活に身近なことば（しまくとぅば）を知り、使うことができる。 (思判表力)しまくとぅばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えることができる。 (学・人)言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとぅばに親しもうとすることができる。 《高等部２段階》	(知・技)生活に身近なことば（しまくとぅば）を知り、使っている。 (思・判・表)しまくとぅばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えている。 (主学)言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとぅばに親しもうとしている。	しまくとぅばの学習	①『しまくとぅば読本』を活用し、しまくとぅばの基礎知識やことばについての学習 ②組踊や琉歌などの郷土の文芸
		(知及技）日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。 (思判表力)登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 (学･人)日常的に読書に親しみ、図書のもつ良さを感じようとする態度を身につけることができる。 《高等部２段階》	(知・技）日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。 (思･判･表)登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 (主学)日常的に読書に親しみ、図書のもつ良さを感じようとしている。	小説に親しもう 「走れメロス」	①本文の内容の読み取り ②登場人物の特徴の整理 ③登場人物の様子や気持ち
		(知及技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 (思判表力)互いの立場や意図を明確にしながら、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、考えを広げたりまとめたりすることができる。 (学･人)言葉が持つ良さを認識し、相手や場面に応じて使い分けようとすることができる。 《高等部２段階》	(知・技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 (思･判･表)互いの立場や意図を明確にしながら、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、考えを広げたりまとめたりしようとしている。 (主学)言葉が持つ良さを認識し、相手や場面に応じて使い分けようとしている。	表現力を高めよう②	①身近な敬語ついて ②場に応じた話し方のロールプレイング ③履歴書の書き方
		(知及技）文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。 (思判表力)事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 (学･人)さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとすることができる。 《高等部２段階》	(知・技）文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解している。 (思･判･表)事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (主学)さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとしている。	文章の読み取り①	様々な文章を読み、必要な情報を読み取る
		(知及技）目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる。 (思判表力)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学･人)手紙の書き方を理解し、送る相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとすることができる。 《高等部２段階》	(知・技）目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。 (思･判･表)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学)手紙の書き方を理解し、送る相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとしている。	手紙を書こう②	年賀状を書く

令和８年度　年間指導計画

3学期	16	(知及技）用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。 (思判表力)毛筆の特性を理解し、全体のバランスを考えながら書くことができる。 (学･人)毛筆の特性が理解できるよう繰り返し書こうとする態度を身につけることができる。 《高等部２段階》	(知・技）用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。 (思･判･表)毛筆の特性を理解し、全体のバランスを考えながら書いている。 (主学)毛筆の特性が理解できるよう繰り返し書こうとしている。	書き初め	字形を意識して毛筆で書く
		(知及技）文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。 (思判表力)目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができる。 (学･人)さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとすることができる。 《高等部２段階》	(知・技）文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解している。 (思･判･表)目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けている。 (主学)さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとしている。	文章の読み取り②	様々な文章を読み、必要な情報を読み取る
		(知及技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 (思判表力)資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。 (学･人)テーマ毎にこれまでの自分をふり返り、書き方を工夫しながら、自分のことについて書こうとすることができる。 《高等部２段階》	(知・技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 (思･判･表)資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 (主学)テーマ毎にこれまでの自分をふり返り、書き方を工夫しながら、自分のことについて書こうとしている。	思い出を文章にして残そう	３年間を振り返り、体験したことや考えたことを文章にしてまとめる
		(知及技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 (思判表力)文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。 (学･人)相手に応じて、文章を整え、自分の気持ちが伝わるように手紙を書こうとすることができる。 《高等部２段階》	(知・技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 (思･判･表)文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 (主学)相手に応じて、文章を整え、自分の気持ちが伝わるように手紙を書こうとしている。	感謝の手紙	お世話になった方々へ感謝の手紙を書く
年間を通		（知及技）文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。 （思判表力）学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用することができる。 （学・人）言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとすることができる。 《高等部２段階》	（知・技）文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。 （思・判・表）学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用している。 （主学）言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	漢字の読み書き	漢字の読み書き 小学校中学年から小学校高学年までの漢字の読み書きに取り組む

令和８年度　年間指導計画

通して	（知及技）情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。 （思判表力）社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。 （学・人）言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとすることができる。 《高等部２段階》	（知・技）情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。 （思・判・表）社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えている。 （主学）言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	情報の聞き取り	聞き取り問題を活用し、必要な情報を聞き取る学習に取り組む
留意点 引き継ぎ	・季節行事や学校行事などの身近な話題をあげ、学習内容との関係性を示しながら学習への関心・意欲を高める。 ・個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。			

高等部

年間指導計画

社会

令和８年度　年間指導計画

令和8年度　高等部２学年（Ⅱ課程A類型①）　社会科　年間指導計画

単位/配当時数	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
2/70	２学年　Ⅱ課程A類型①	別紙記載	ひとりだちするための社会（日本教育研究出版）

年間目標	(知及技）地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力）社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。　《高等部１段階》

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技)我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解することができる。 (思判表力)生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することができる。 （学・人）我が国の農業や水産業における食料生産に関心をもち、学んだことを社会生活に生かそうとすることができる。 《高等部１段階》	(知･技)我が国の食料生産は，自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。 (思･判･表)生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現している。 （主学）我が国の農業や水産業における食料生産に関心をもち、学んだことを社会生活に生かそうとしている。	1. 産業と生活 ・日本の産業 ・米づくりのさかんな地域、これからの米づくり ・水産業のさかんな地域変わる日本の漁業 ・食料の輸入と自給率	・各産業（第１次産業～第３次産業）の概要を理解し、グラフや資料から各産業の特徴を読み取る。 ・お米の銘柄から米作りのさかんな地域の特徴を学ぶ。 ・日本地図と海流から漁場と採れる魚介類を調べる。 ・食料の生産性を高める工夫や品質管理、輸送方法、販売方法について学ぶ。 ・身近な食べ物から、原材料の産地を調べ日本の食料自給率を学ぶ。
		（知及技）我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解することができる。工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解することができる。 （思判表力）工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して，工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え，その働きを考え、表現することができる。 （学・人）我が国の工業生産について関心をもち、学んだことを社会生活に生かそうとすることができる。 《高等部2段階》	（知・技）我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。 （思・判・表）工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現している。 （主学）我が国の工業生産について関心をもち、学んだことを社会生活に生かそうとしている。	2. 我が国の工業生産 ・工業のさかんな地域 ・工業の種類の移り変わり	・工業の種類について、写真やイラスト、実物などを使って学ぶ。 ・工業種類の移り変わりをグラフを見て、どのように変化したのか、なぜなのか考える。 ・工業地域を地図を使い、名称と位置を確認する。

令和８年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		（知及技）大量の情報や情報通信技術の活用は様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解することができる。 （思判表力）情報の種類，情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え，表現することができる。 （学・人）我が国の産業と情報の関わりに関心をもち、学んだことを社会生活に生かしている。 《高等部2段階》	（知・技）大量の情報や情報通信技術の活用は様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解することができている。 （思・判・表）情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 （主学）我が国の産業と情報の関わりに関心をもち、学んだことを社会生活に生かそうとしている。	3．我が国の産業と情報との関わり ・情報について	・情報の種類や情報通信技術の進歩や活用について、iPadやスマートフォンなど身近な時間ツールを使い学ぶ。
2学期	28	(知及技）我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解することができる。 (思判表力)地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することができる。 (学･人）我が国の国土の様子と国民生活に関心をもち、学んだことを社会生活に生かそうとすることができる。 《高等部１段階》	(知･技)我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解している。 (思･判･表)地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現している。 (主学)我が国の国土の様子と国民生活に関心をもち、学んだことを社会生活に生かそうとしている。	4．我が国の国土の様子と国民生活 ・世界のなかの日本 ・日本の国土	・世界地図や地球儀を使用し、日本列島の位置を確認する。 ・日本の地形や自然環境の特色を地図や動画で学ぶ。 ・日本の気候と気候に則した各地方の生活を動画や調べ学習で学ぶ。
		（知及技）自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。 （思判表力）国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考え、表現することができる。 （学・人）自然災害から国土や国民生活を守るために自分たちにできることを考え、社会生活に生かそうとすることができる。 《高等部２段階》	（知及技）自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 （思・判・表）国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考え、表現している。 （主学）自然災害から国土や国民生活を守るために自分たちにできることを考え、社会生活に生かそうとしている。	5．我が国の国土の自然環境と国民生活 ・自然災害を防ぐ	・「東日本大震災」や「台風」を題材に防災対策や防災についての心がけを学び、自分の地域のハザードマップや避難場所を確認する。 ・自分の防災バッグを点検し、防災用品について学ぶ。
		(知及技)我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解することができる。 (思判表力) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学･人)我が国の歴史に関心をもち、学んだことを社会生活に生かそうとすることができる。 《高等部１段階》	(知･技)日本の歴史上の人物の業績や優れた文化遺産などを理解している。 (思･判･表)世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現している。 (主学)我が国の歴史に関心をもち、学んだことを社会生活に生かそうとしている。	6．我が国の歴史 ・日本の歴史年表 ・古代～武士の時代へ ・幕末から明治維新へ ・第二次世界大戦を経て ・平和な社会をめざす	・歴史年表で時代名を学ぶ。 ・各時代の主なできごとや主な人物について学ぶ。 ・各時代の特徴について学ぶ。

令和８年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
3学期	16	（知及技）異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができる。 （思判表力）外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現することができる。 （学・人）グローバル化する世界と日本の役割について関心をもち、学んだことを社会生活に生かそうとすることができる。 《高等部１段階》	（知・技）異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解できている。 （思・判・表）外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現している。 （主学）グローバル化する世界と日本の役割について関心をもち、学んだことを社会生活に生かそうとしている。	7. 外国の様子 ・世界の国々とのつながり ・世界の国々の特徴 ・国際協力	・世界にはどのような国々があるか、地図や国旗などで学ぶ。 ・言語や主食、生活習慣などから、外国の人々の文化を学び、日本との違いを考える。 ・調べてみたい国を１つあげ、スライドにまとめる。 ・「国際連合」や「世界保健機関」などの国際機関の役割や日本の国際協力の現状や役割について学ぶ。
年間を通して		（知及技）住んでいる地域のルールやマナーに従いながら、校外に出て社会について学ぶことができる。 （思判表力）身のまわりの社会的事象に関心を持ち、情報を適切に活用することができる。 （学・人）授業での学びと社会との繋がりを理解し、地域社会の一員として生きていこうとする態度を身につけることができる。 《高等部１段階》	（知・技）住んでいる地域のルールやマナーに従いながら、校外に出て社会について学ぶことができている。 （思・判・表）身のまわりの社会的事象に関心を持ち、情報を適切に活用している。 （主学）授業での学びと社会との繋がりを理解し、地域社会の一員として生きていこうとする態度を身につけている。	・校内外で授業や社会のルールを守る ・新聞、ニュースを確認する ・就業体験や卒業生の就職先を授業内容で取り扱う	・授業中のルール、校外学習での約束を確認する。 ・タブレット端末の活用、身近なニュースの紹介を行う。 ・生徒の進路や卒業後の生活を意識した授業づくりを行う。
留意点 引き継ぎ		個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。 Canvaなど、iPadを活用しながら主体的・協働的な学習を行えるように支援する。			

高等部

年間指導計画

数学

令和８年度　年間指導計画

令和８年度　高等部１学年（Ⅱ課程A類型①）　数学科　年間指導計画

単位/配当時数	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
2/70	１学年　Ⅱ課程A類型①	別紙記載	ひとりだちするための算数 数学ワーク・補助プリント

年間目標	(知及技）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (学･人)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 《高等部１段階》

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	26	(知及技）万、億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めることができる。10 倍、100 倍、1000 倍、１/10の大きさの数を小数点の位置を移してつくることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に活かすことができる。 数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に活かすことができる。 (学･人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 （高等部1段階）	(知・技）万、億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めている。10 倍、100 倍、1000 倍、１/10の大きさの数を小数点の位置を移してつくっている。 (思･判･表)数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に活かしている。 数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に活かしている。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元　「大きな数のしくみ」	・それぞれの単位の個数が１０になると新しい単位に置き換わることを知る。 ・それぞれの単位を異なる記号を用いて表す代わりに、これを位の位置の違いで示す。 ・９桁を超えるような大きな数については、４桁に区切るなどして万や億の単位の幾つ分かを考えることができるようにする。 ・新聞等の見出しを読んだり、その数値を理解したりする。
		(知及技）概数が用いられる場面や四捨五入について知ることができる。目的に応じて四則計算の結果を見積ることができる。 (思判表力)日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に活かすことができる。 (学･人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 （高等部1段階）	(知・技）概数が用いられる場面や四捨五入について知っている。 目的に応じて四則計算の結果を見積っている。 (思･判･表)日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に活かしている。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元　「概数」	・日本の人口や施設の入場者数などの例を出し、その目的を明確にしながら用い方を理解できるようにする。 ・四捨五入を用いて、計算の結果の見積もりを暗算で解けるようにする。
		(知及技）大きな数の加法及び減法の筆算の仕方について理解し、加法及び減法の計算ができる。 (思判表力)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。 (学･人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 （高等部1段階）	(知・技）大きな数の加法及び減法の筆算の仕方について理解し、加法及び減法の計算をしている。 (思･判･表)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりしている。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「大きな数の加法、減法」	・既習の計算方法（筆算）を用いて、計算に取り組む。 ・計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫したり計算を確かめたりする。

令和８年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		(知及技）乗法に関して成り立つ性質について理解するとともに、筆算を用いて、２位数や３位数に１位数や２位数をかける乗法の計算ができる。筆算を用いて、除数が１位数や２位数で被除数が２位数や３位数の場合の計算ができる。除法について、除法に関して成り立つ性質や（被除数）＝（除数）×（商）＋（余り）の関係を理解することができる。 (思判表力)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。 (学･人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 （高等部1段階）	(知・技）乗法に関して成り立つ性質について理解するとともに、筆算を用いて、２位数や３位数に１位数や２位数をかける乗法の計算をしている。筆算を用いて、除数が１位数や２位数で被除数が２位数や３位数の場合の計算をしている。除法について、除法に関して成り立つ性質や（被除数）＝（除数）×（商）＋（余り）の関係を理解している。 (思･判･表)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりしている。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元　「整数の乗法と除法」	・２位数や３位数に１位数や２位数をかける乗法の計算を繰り返し行う。 ・計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫する。 ・除法が用いられる場面を設定し、包含除と等分除の違いが分かるように取り組む。 ・繰り返し計算問題に取り組み、計算の意味や計算の仕方を考える。
		(知及技）平行四辺形、ひし形、台形について知り、 図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解することができる。 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知り、円周率の意味について理解し、それを用いることができる。 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり筋道を立てて考え説明したりすることができる。 (学･人)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 （ 高等部1段階）	(知・技）平行四辺形、ひし形、台形について知り、 図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解している。 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解している。円と関連させて正多角形の基本的な性質を知り、円周率の意味について理解し、それを用いている。 (思･判･表)図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり筋道を立てて考え説明したりしている。 (主学)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元　「平面図形」	・直線の位置関係や辺の長さに着目することで、平行四辺形、ひし形、台形について知り、図形の置き方をいろいろと変えても、その図形の名称が判断できるようにする。
二		(知及技）立方体、直方体について知り、直方体に関連した、直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。見取図、展開図について知ることができる。基本的な角柱や円柱について知ることができる。 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すことができる。 (学･人)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 （高等部1段階）	(知・技）立方体、直方体について知り、直方体に関連した、直線や平面の平行や垂直の関係について理解している。見取図、展開図について知っている。 (思･判･表)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。 (主学)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元　「立体図形」	・構成する要素（頂点、辺、面）に着目し、辺と辺、辺と面、面と面の平行及び垂直の関係について考える。 ・立体図形を平面上にいかに表現するか、また逆に、平面上に表現された図からいかに立体図形を構成できるかを考え、表現する。 ・生活の中に直方体と立方体を見いだし、それがどのような性質を活用しているか考え、発表する。

令和８年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
学期	28	(知及技）ものの位置の表し方について理解することができる。 (思判表力)平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察することができる。 (学･人)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 （高等部1段階）	(知・技）ものの位置の表し方について理解している。 (思･判･表)平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。 (主学)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元　「ものの位置」	・実際に学校や教室の中、地図など身近にあるものの位置を数学的に表現する活動を行う。
		(知及技）簡単な場合について、比例の関係があることを知ることができる。 (思判表力)伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。 (学･人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 （高等部1段階）	(知・技）簡単な場合について、比例の関係があることを知っている。 (思･判･表)伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元　「２つの量の変わり方」	・表を用いて一方が2倍、3倍、4倍になるときそれに伴って他方も2倍、3倍、4倍になる2つの数量の関係を見いだす。
		(知及技）速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。 (思判表力)異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすことができる。 (学･人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 （高等部1段階）	(知・技）速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めている。 (思･判･表)異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に活かしている。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用している。	単元　「単位量あたりの大きさ」	・都道府県や市町村の人口の疎密をくらべて、単位量の意味や用い方を学ぶ。
三学期	16	(知及技）ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解し、割合などを求め、百分率を用いて表すことができる。数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解し、それらのグラフで表したり、読んだりすることができる。データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ることができる。 (思判表力)目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。 (学･人)データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 《高等部1段階》	(知・技）ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解し、割合などを求め、百分率を用いて表している。数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解し、それらのグラフで表したり、読んだりしている。データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。 (思･判･表)目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察している。 (主学)データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用している。	単元　「帯グラフと円グラフ」	・課題を見つけ、因果関係や傾向をデータに基づいて判断する統計的な問題解決方法を知り、考察していく。

令和８年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		（知及技） ・暦やカレンダーを理解し、過去、現在、未来と関連づけて利用することができる。 ・日常生活において計測する道具の役割や用途を理解し、場面に応じて利用することができる。 (思判表力） ・日常生活の中で使われている図や表を読み取ったり、表すことができる。 (学・人） ・さまざまな単位やお金の種類を理解し、日常生活の中で利用する態度や力を養う。	（知・技） ・暦やカレンダーを理解し、過去、現在、未来と関連づけて利用している。 ・日常生活において計測する道具の役割や用途を理解し、場面に応じて利用している。 (思・判・表） ・日常生活の中で使われている図や表を読み取ったり、表している。 (主学） ・さまざまな単位やお金の種類を理解し、日常生活の中で利用しようとしている。	【時間・時刻・暦】 【金銭学習】 【調理実習】 ※他教科との共同学習	・カレンダーワーク ・１日の時間の流れ、行事や予定の確認。 ・行事の日程表の確認して時間を意識する。 ・買い物学習を通して、セルフレジの使い方や金銭処理を実践する ・調理実習に向けて、材料の購入 ・レシートの見方 ・消費税について ・金銭出納帳(お小遣い帳など)の書き方、見方 ・調理実習に向けて、材料を計量する。 ・計量器の名前や使い方を学ぶ。
留意点 引き継ぎ		個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援(個別のプリントや課題など）や発展的な課題の提示を行う。			

高等部

年間指導計画

保健体育

令和8年度　年間指導計画

令和８年度　高等部1年（Ⅱ課程A類型①）　保健体育科　年間指導計画

単位/配当時数	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
3/105	1年 Ⅱ課程A類型①	別紙記載	

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを味わい、心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深め、目的に応じた技能を身に付ける。 (思判表力）自他の課題を発見し、仲間と思考・判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力し生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。《高等部１段階》

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	39	(知及技)体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思判表力）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人）きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。《高等部１段階》	(知・技)体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりしている。 (思・判・表）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学）きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をしようとしている。	体つくり運動 ・集団行動 ・体操 ・新体力テスト ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動	・集合、整列（号令、姿勢、気をつけ、前へならえ、回れ右、行進等） ・音楽に合わせて身体部位をほぐす。（ストレッチ体操、特体連ダンス、リズムジャンプ） ・サーキットトレーニング ・スポーツテスト（５０m走、100m走、ボール投げ、握力、上体起こし、反復横跳び、長座体前屈、ｼｬﾄﾙﾗﾝ、５０m・１００m走）
		(知及技)器械運動の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。 (思判表力）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人）きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や器械・器具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。《高等部１段階》	(知・技）器械運動の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けている。 (思・判・表）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学）きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や器械・器具の安全を確保したりし，自主的に運動をしようとしている。	器械運動 ・マット運動 ・平均台運動 ・トランポリン	・マット運動 （前転、後転、開脚前転、開脚後転、 ・平均台運動 （体操系歩走、バランス系ポーズ、バランス系ターン） ・トランポリン（ストレートジャンプ、ヒップドロップ、回転、）
		(知及技) 武道の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに，基本動作や基本となる技を用いて，簡易な攻防を展開することができる。 (思判表力）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人）きまりや伝統的な行動の仕方を守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。《高等部１段階》	(知・技) 武道の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに，基本動作や基本となる技を用いて，簡易な攻防を展開している。 (思・判・表）武道についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えたりしている。 (主学）武道の多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をしようとしている。	武道 ・柔道	・柔道 礼法 基本動作(受身、組手、体さばき、取、受) 形・投げ技・固め技
		(知及技）ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をすることができる。 (思判表力）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人）仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。《高等部１段階》	(知・技）ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をしている。 (思・判・表）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学）仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をしようとしている。	・ダンス（郷土の踊り、現代的なリズムのダンス）	・伝統踊りであるエイサーの踊りの特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊る。 ・リズムの特徴を捉え、変化とまとまりをつけてリズムに乗って全身で自由に弾んで踊る。 ・音楽のリズムに同調する ・体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをして自由に踊る。
二学期	42	(知及技）水泳の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思判表力）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人）きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。　《高等部１段階》	(知・技）水泳の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。 (思・判・表）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学）きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をしようとしている。	水泳 ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ ・ターン	・水慣れ、水中ウォーミングアップ ・補助具を活用した泳法 ・呼吸法（息継ぎ）
		(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。 (思判表力）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人）きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。《高等部１段階》	(知・技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。 (思・判・表）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学）きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をしようとしている。	・陸上競技 （短距離走、リレー、走り高跳び、ソフトボール投げ、長距離走）	・スタートダッシュ、腕振り（フォーム） ・ソフトボール投げ ・記録会 ・５０m走、100m走、リレーバトンパス ・時間走 ・呼吸法、腕振り ・時間走、ペース走 ・呼吸法、腕振り ・インターバルトレーニング

令和8年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
三学期	24	(知及技）球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人）きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。《高等部１段階》	(知・技）球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表）自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学）きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をしようとしてる。	・球技 （バスケットボール、風船バレー、バドミントン、卓球、ティーベースボール）	・パス、キャッチ、ドリブル、キック、シュートなどの基本動作練習 ・各球技のルール （特別ルールの工夫） ・攻め方、守り方（作戦の立て方）
年間を通して		(知及技)心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに，健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 (思判表力）(学・人） 健康・安全に関わる自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 ≪高等部１段階≫	(知・技)心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに，健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表）(主学） 健康・安全に関わる自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。	・保健	・ストレスへの対処、生活習慣病等の予防、性情報への対処、応急処置の仕方、災害時の備え、衣服の調整（寒暖差）、暑さ対策（水分補給、休養）
		(知及技)運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付くことができる。 (思判表力）運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人）運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができる。 ≪高等部１段階≫	(知・技)運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付いている。 (思・判・表）運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学）運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組もうとしている。	・体育理論	・運動によって得られる効果、フェアプレイ、運動の獲得に向けた合理的な練習方法、技能の程度に応じた戦術や作戦の立て方
留意点 引き継ぎ		個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。			

高等部

年間指導計画

職業

令和8年度　年間指導計画

令和　8年度　高等部　２・３年（Ⅱ課程A類型①グループ）　職業科　喫茶サービス班　年間指導計画

単位/配当時数	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
9/315	２・３年　Ⅱ課程A類型①グループ	別紙記載	ひとりだちするための進路学習（日本教育研究出版）

年間目標	(知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。 (思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践する力を養う。 (学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 《高等部２段階》

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	117	(知及技)職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。 (思判表力）作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。 (学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 (知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。 (思判表力）産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができる。 《高等部２段階》	(知・技)職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けている。 (思・判・表）作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現している。 (主学）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとしている態度がみられる。 (知・技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めている。 (思・判・表）産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現している。	・就労の意義 ・情報機器の活用 ・技能検定 ・布製品作り ・各行事に向けた製品製作 ・販売学習準備 ・調理実習、買い物学習 ・学習の振り返り	・キャリアノート等を活用し働く意義や将来の目標をまとめる。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び、表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・数種の検定から自ら選択し、繰り返しの練習から道具の扱いについて学ぶ。 ・基礎縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・実践的な校内の実習を体験する。 ・道具の適切な使用方法 ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法を理解することができる。 ・清掃（作業場、トイレ、廊下、教室等） ・就業体験事前、事後学習 ・カフェ運営・校内販売会
2学期	126	(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めることができる。使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。 (思判表力）生産や生育活動等に関わる技術に込められた工夫について考えることができる。作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができる。 (学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 (知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。 (思判表力）産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができる。 《高等部２段階》	(知・技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めている。使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱っている。 (思・判・表）生産や生育活動等に関わる技術に込められた工夫について考えている。作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図っている。 (主学）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする態度がみられる。 (知・技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めている。 (思・判・表）産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現している。	・情報機器の活用 ・技能検定 ・職業生活 ・布製品作り ・各行事に向けた製品製作 ・販売学習準備 ・調理実習、買い物学習 ・学習の振り返り	・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び、表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・数種の検定から自ら選択し、繰り返しの練習から道具の扱いについて学ぶ。 ・実践的な校内の実習を体験する。 ・基礎縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・道具の適切な使用方法 ・適切な接客態度、実践について ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法を理解することができる。 ・清掃（作業場、トイレ、廊下、教室等） ・就業体験事前、事後学習 ・カフェ運営・校内販売会

令和8年度　年間指導計画

3 学 期	72	(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟することができる。職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めることができる。 (思判表力）職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。 (学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 《高等部２段階》	(知・技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟しようとしている。職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めている。 (思・判・表）職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えている。 (主学）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする態度がみられる。	・技能検定 ・職業生活 ・布製品作り ・各行事に向けた製品製作 ・販売学習準備 ・調理実習、買い物学習 ・学習の振り返り	・数種の検定から自ら選択し、繰り返しの練習から道具の扱いについて学ぶ。 ・実践的な校内の実習を体験する。 ・基礎縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・道具の適切な使用方法 ・適切な接客態度、実践について ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法を理解することができる。 ・清掃（作業場、トイレ、廊下、教室等） ・カフェ運営・校内販売会
留意点 引き継ぎ		・個別の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う			